



## ふくせん・新たに神奈川県ブロックを設立、設立総会を開催

本会では、地域のネットワークを強化し、地域単位で活動を展開することで、福祉用具専門相談員のさらなるスキルアップを支援できるよう、ブロックの組織化・活性化に積極的にとりこんでいるところだ。昨年11月15日、新たに神奈川県ブロックが設立したことをうけ、神奈川県ブロック所属の会員があつまって設立総会がおこなわれた。



### 相談員の知識・技術の習得、地位の向上に向けて



●神奈川県ブロック長  
北川 貴己(きたがわ きみ)氏

「『地域で選ばれる』福祉用具専門相談員を目指していきたい。」  
神奈川県ブロック長に就任した北川貴己氏(株式会社北全取締役福祉事業部長)は抱負を述べた。

平成25年度から本格的に始動する神奈川県ブロック。北川氏は、ふたつのことに力をいれていくという。ひとつは、「研修会の開催」。福祉用具専門相談員の職務に関する知識や技術の向上にむけ、福祉用具専門相談員を対象とした研修会を積極的に開催していく考えだ。もうひとつは、「地位の向上」。地域包括ケアシステムが構築されるなかで、利用者をささえる介護チームの一員として、またひとつの職能として、福祉用具専門相談員の地位の向上に努力する。



●来賓  
菊地原 義夫  
(きくちはら よしお)氏

来賓の神奈川県保健福祉・次世代育成部介護保険課長の菊地原義夫氏も、「利用者のもとめる以上の、質の高いサービスを提供し、利用をこぼんでいる人に対しても様々な提案をしながら、適切な利用に結びつけてもらいたい」とし、「今後さらに福祉用具専門相談員の活躍の場が増えていくことを期待している」とエールを贈った。

## 設立総会、法人の枠をこえて協力を

総会では、神奈川県ブロックを主導していくメンバーのほか、来年度の事業計画、収支予算等が審議された（審議結果は以下囲み参照）。副ブロック長に就任した鈴木氏は、「法人の枠をこえ、他職種と連携し、自己研鑽を積み、利用者のよりよい生活に結びつけたい」とした。同じく副ブロック長になった滋野氏も、会員への協力をあおいだ。

### 総会審議結果

- 【第1号議案】神奈川県ブロック役員について：承認
  - ブロック長／北川貴己氏（前掲）
  - 副ブロック長／滋野岳氏（株式会社柴橋商会）、  
鈴木忠氏（生活協同組合コープかながわ）
  - 事務局／横川聡（株式会社ヤマシタコーポレーション）、  
竹崎修一（同上）
- 【第2号議案】平成24年度収支決算報告について（経過報告）：承認
- 【第3号議案】平成25年度事業計画（案）について：承認
- 【第4号議案】平成25年度収支予算（案）について：承認

### 神奈川県ブロック研修会開催予定

- ①平成25年5月16日  
「退院時に福祉用具を導入するポイント」
  - ②平成25年11月14日  
「ケアマネジャーとの合同研修」
- ※①②いずれも会場は「ウィリング横浜」で開催。

## 研修ポイント制度をうまく活用してスキルアップを

神奈川県ブロックの設立を記念し、同日、講演会がおこなわれた。講師は、渡邊慎一氏（本会理事、神奈川県作業療法士会会長）。本会が来年度の本格運用にむけて開発をすすめている「福祉用具専門相談員の研修ポイント制度」の作業部会長でもある同氏は、制度の趣旨と概要を説明し、協力をよびかけた。

「日常業務が忙しく、研修なんて受けられない」という声もよく聞かれる昨今。しかし、社会保障費は年々厳しさを増している。専門職としての知識をふやし、技術を習得し、地域での介護連携のなかで福祉用具専門相談員が必要不可欠な存在となれるよう、神奈川県ブロックでは「研修ポイント制度」と連動しながら、積極的に活動を展開していきたい考えた。



●研修ポイント制度作業部会長  
渡邊 慎一（わたなべ しんいち）氏